

平成29年（2017年）の安達太良山の火山活動

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

地震活動、噴気、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2017年の発表履歴

2017年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

○ 2017年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～6、図7-①）

若宮及び鉄山に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

2月に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、前回（2015年1月）の観測と同様に沼ノ平火口付近に噴気は観測されず、地熱域にも大きな変化は認められませんでした。

6月に実施した現地調査では、前回（2012年7月）と比較して、沼ノ平火口の噴気や地熱域に特段の変化は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図7-②～④）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図8、図10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図 1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況

- ・ 左図：若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置している監視カメラの映像（12 月 21 日）です。
- ・ 右図：鉄山（沼ノ平火口の北東約 700m）に設置している監視カメラの映像（11 月 14 日）です。

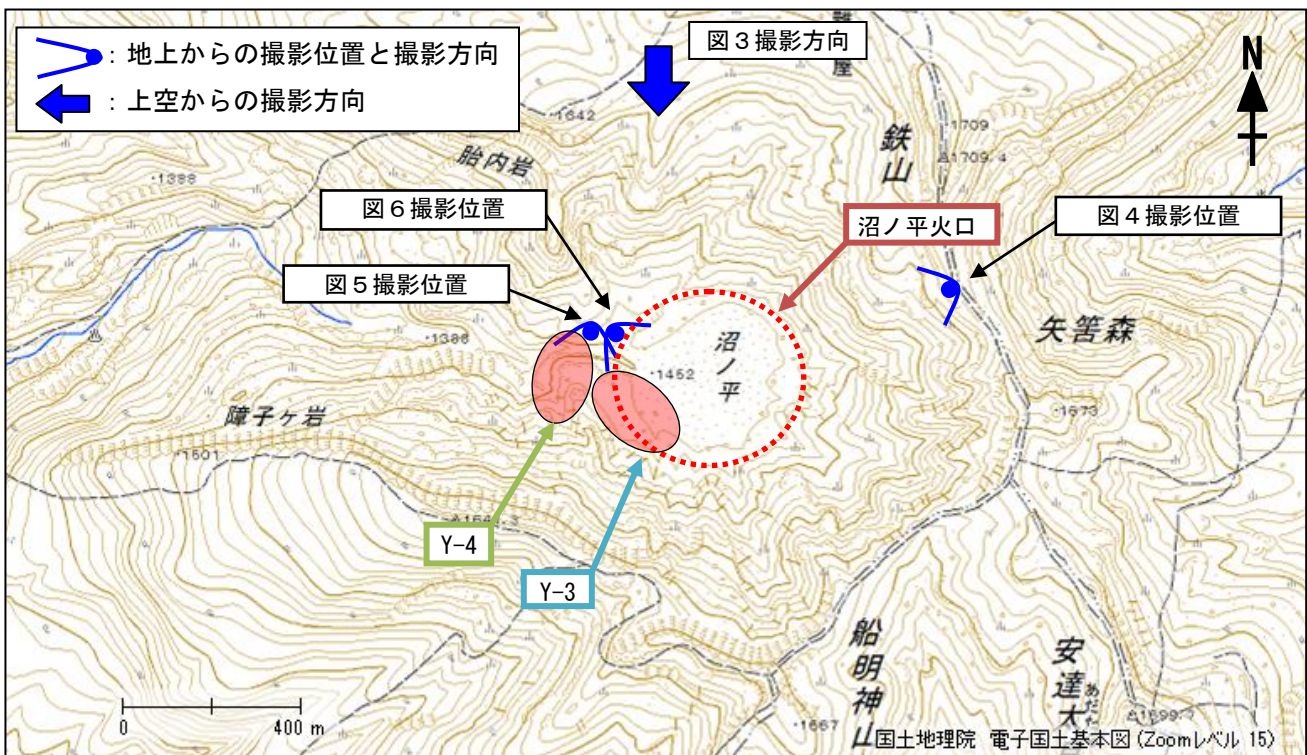


図 2 安達太良山 地熱域の分布及び写真と地表面温度分布¹⁾ 撮影位置及び撮影方向

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

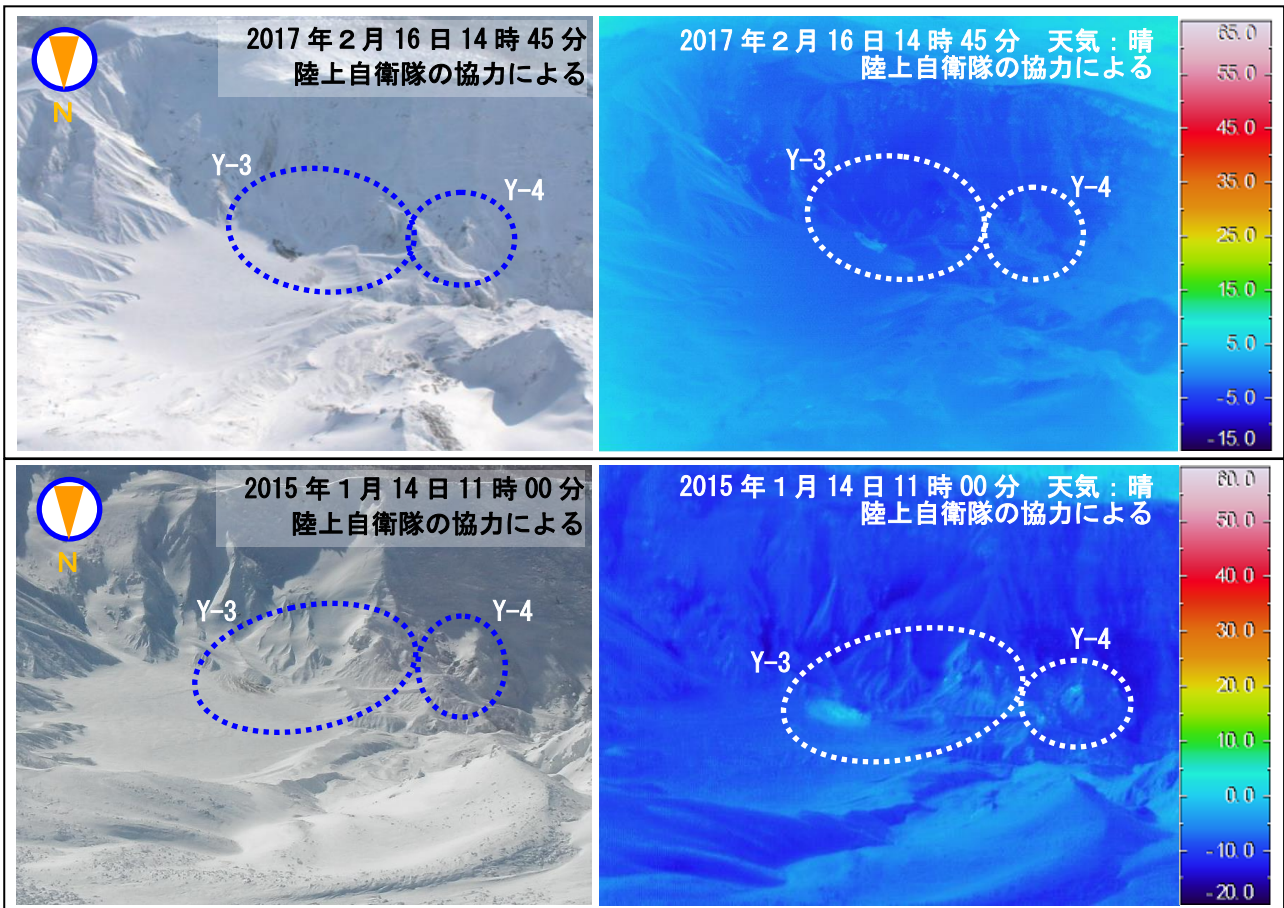


図3 安達太良山 上空から撮影した沼ノ平火口付近(Y-3、4)の状況と地表面温度分布
 ・地熱域（破線領域）に特段の変化は認められませんでした。
 ※2015年1月は、2017年2月と比較して日射の影響をやや強く受けているとみられます。

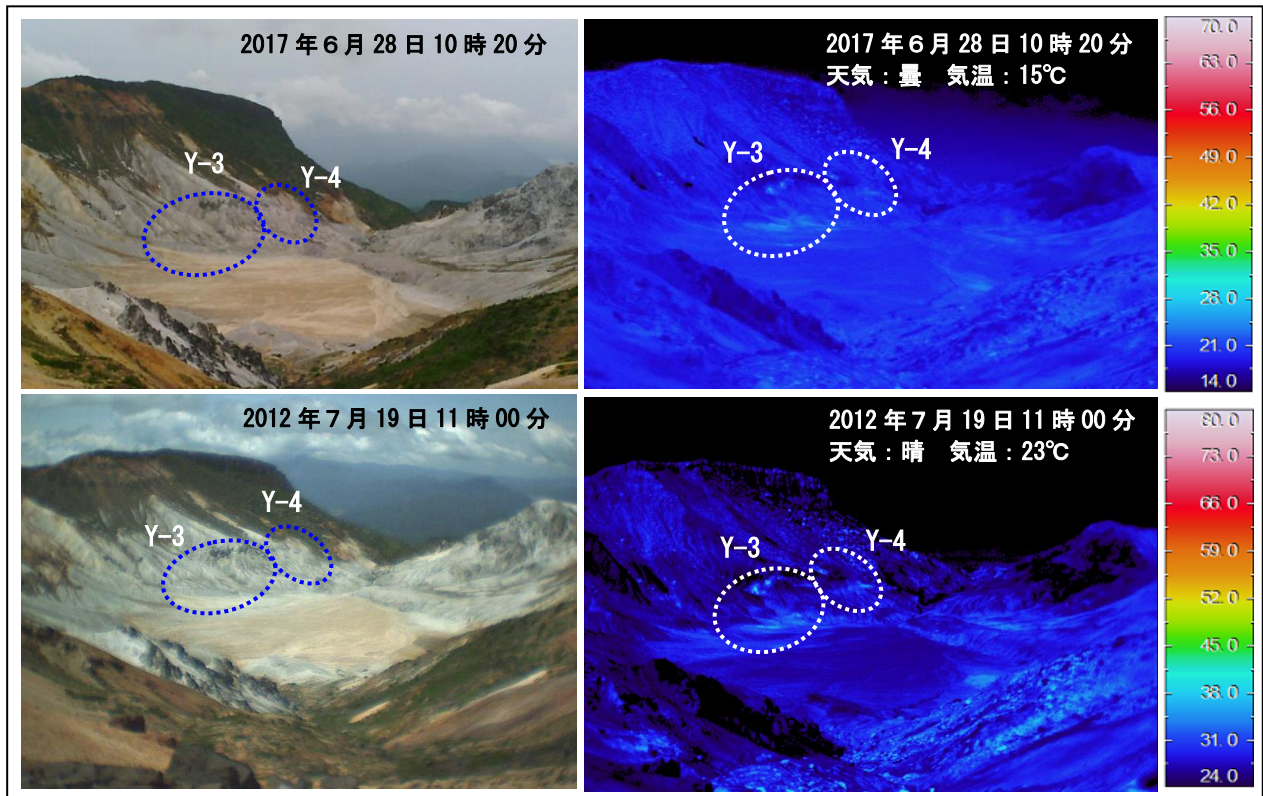


図4 安達太良山 東北東から撮影した沼ノ平火口付近(Y-3、4)の状況と地表面温度分布
 ・地熱域（破線領域）の状況に特段の変化はみられませんでした。

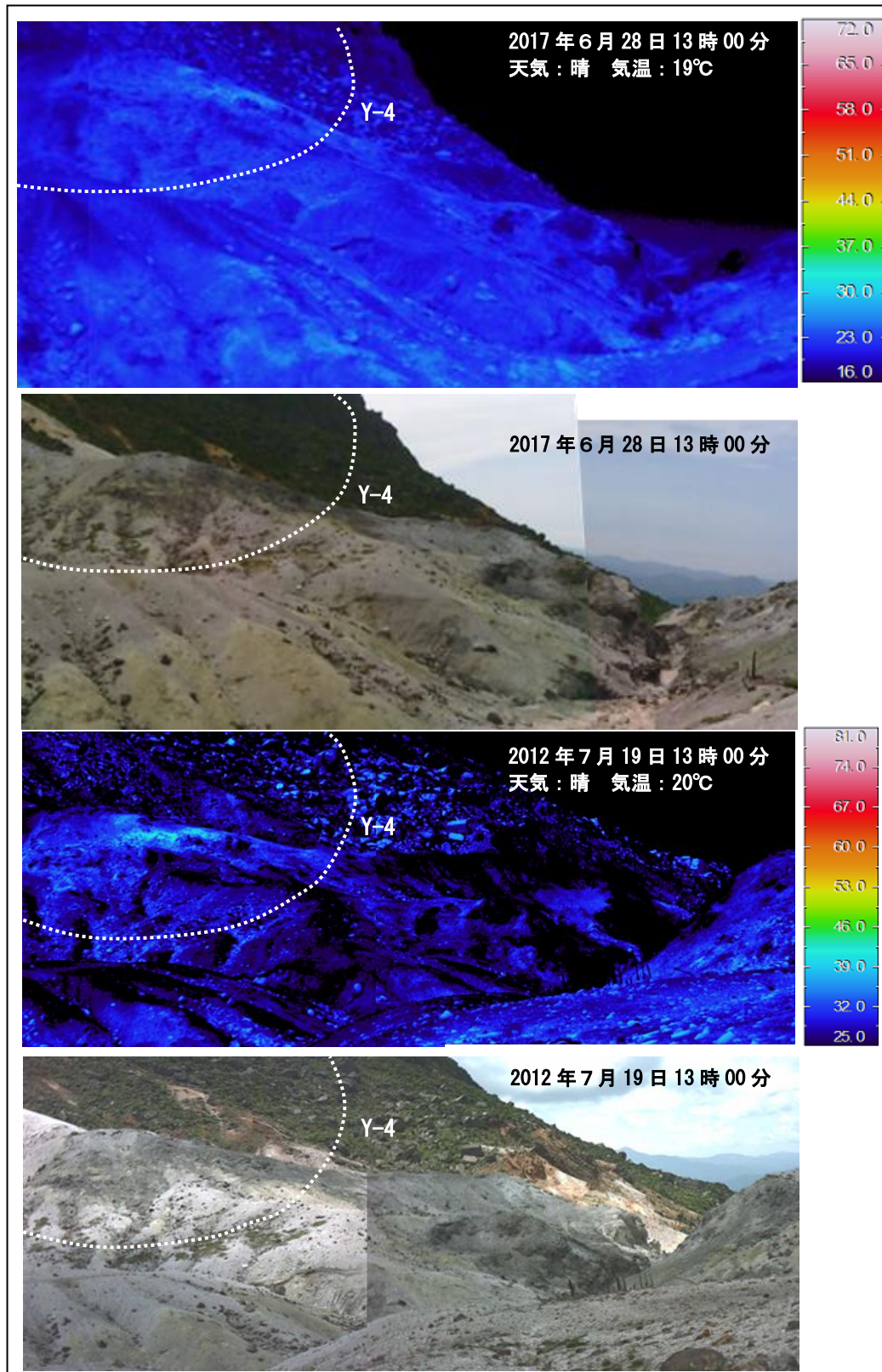


図5 安達太良山 北から撮影した沼ノ平火口西側(Y-4)の状況と地表面温度分布

- ・噴気は確認されませんでした。
- ・地熱域（破線領域）の状況に特段の変化はみられませんでした。

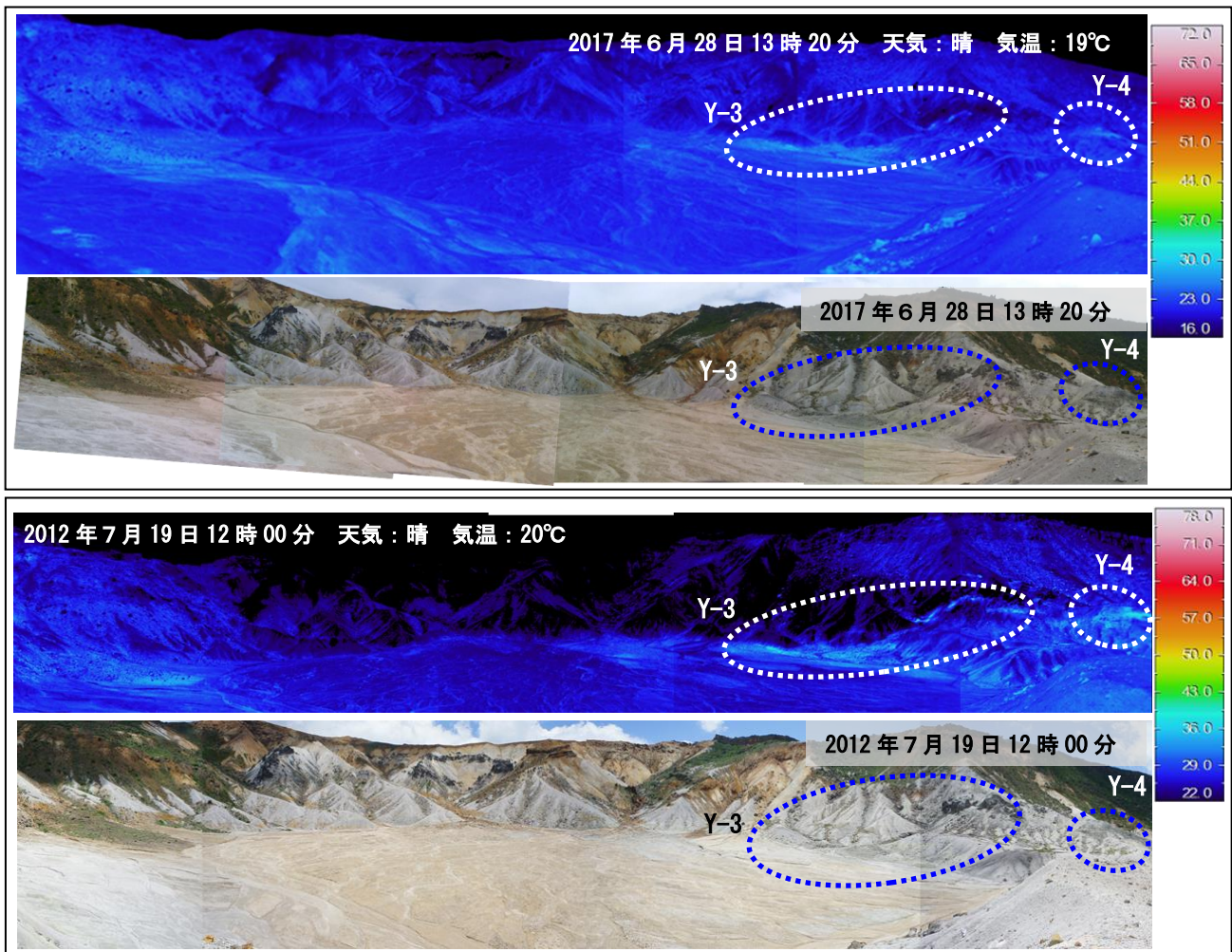


図 6 安達太良山 北西から撮影した沼ノ平火口付近(Y-3、4)の状況と地表面温度分布

- ・噴気は確認されませんでした。
- ・地熱域（破線領域）の状況に特段の変化はみられませんでした。

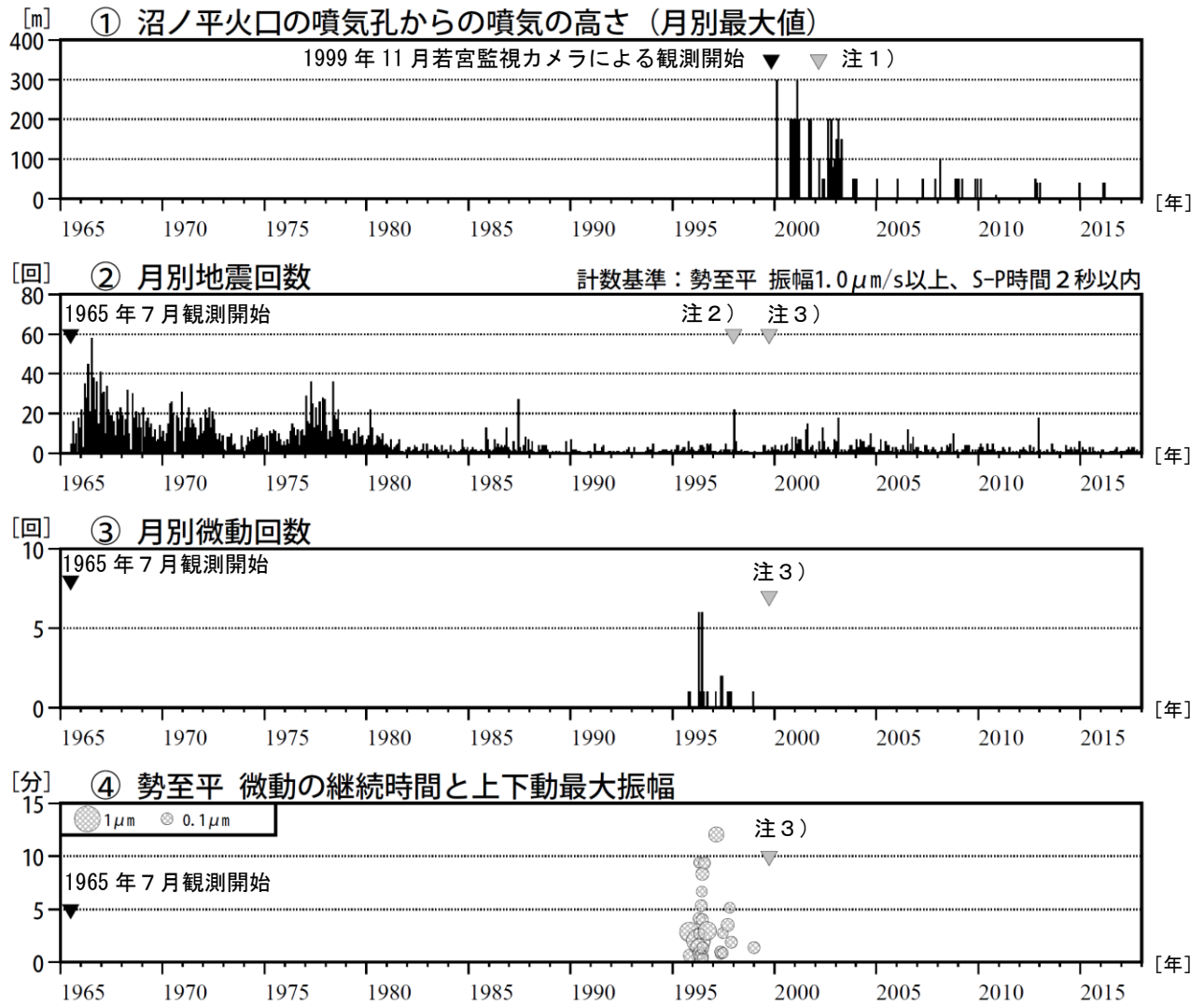


図7 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月～2017年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②～④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から新設した勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

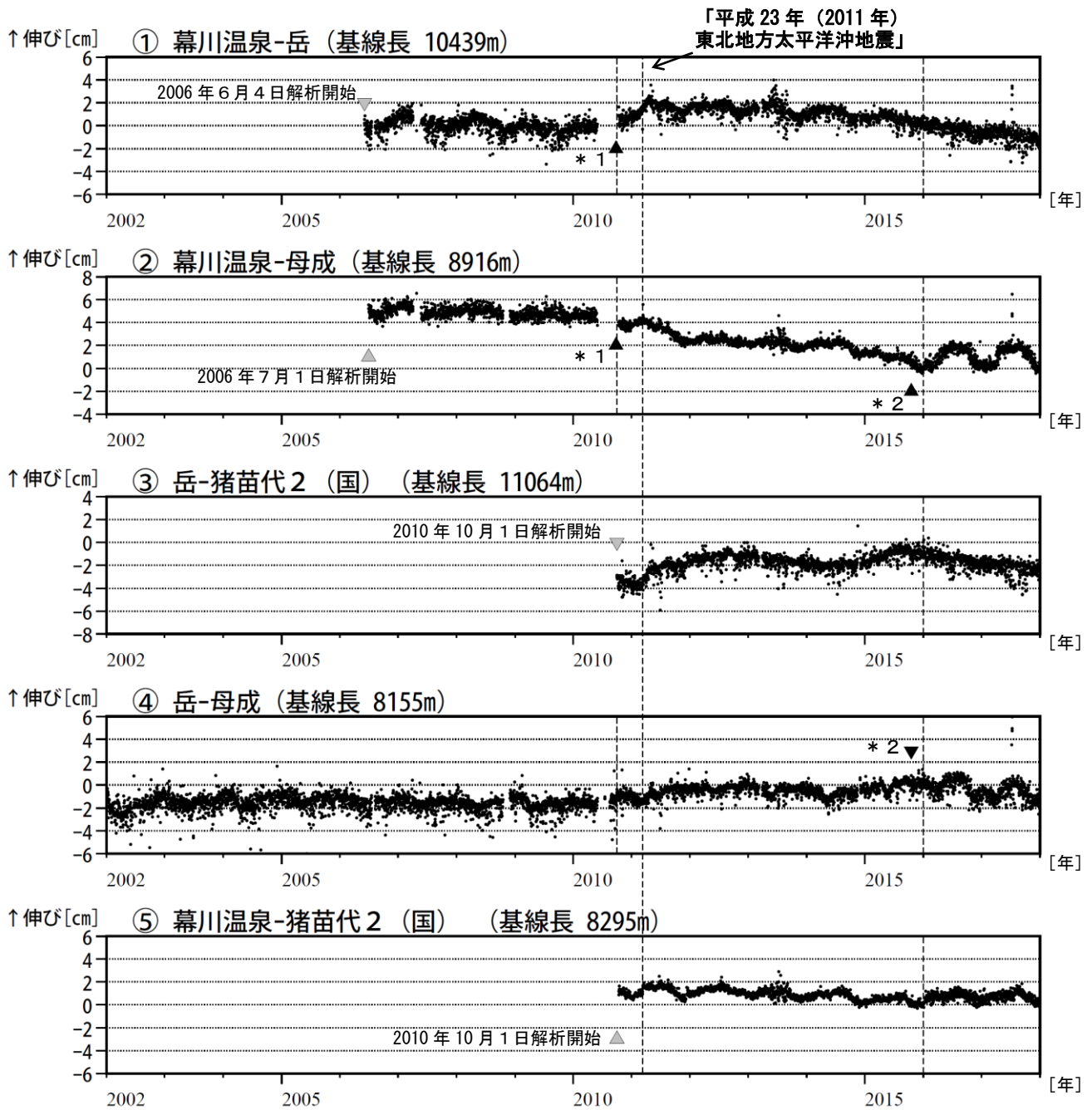


図 8 安達太良山 GNSS²⁾ 基線長変化図 (2002 年 1 月～2017 年 12 月)

- ・ 2010 年 10 月及び 2016 年 1 月に、解析方法を変更しています。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑤は図 10 の GNSS 基線①～⑤に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
 - ・ * 1 : 幕川温泉観測点の機器更新を行いました。 * 2 : 母成観測点の機器更新及び移設を行いました。
- 2) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

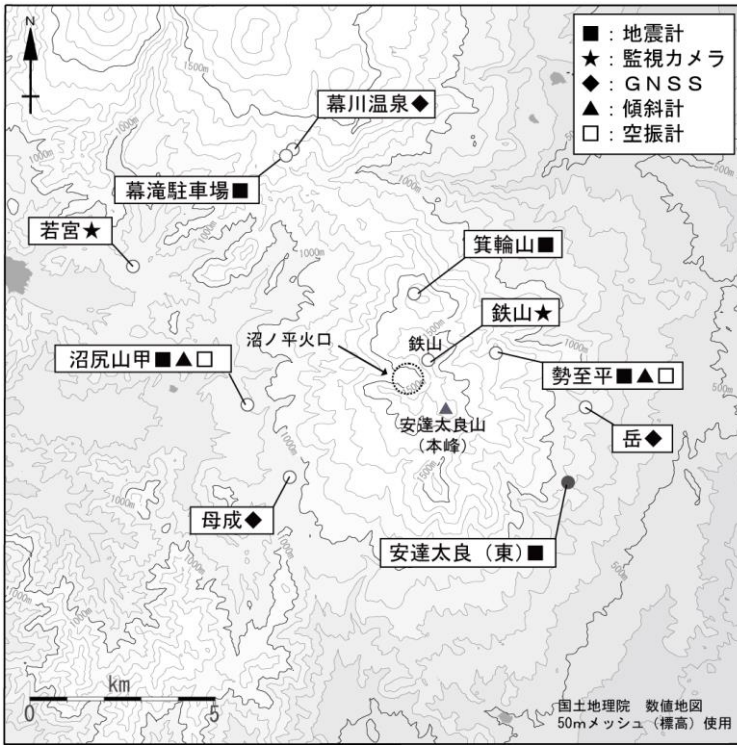


図9 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の
観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

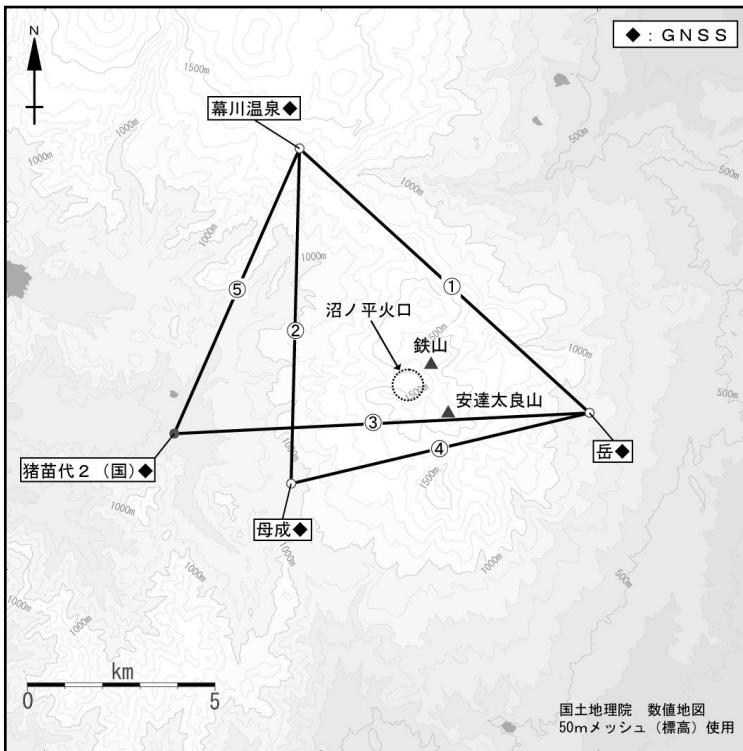


図10 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の
観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表 1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320		1999.10.22	短周期 3成分
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010.9.1	短周期 3成分 ポアホール型
	箕輪山	37° 38.90'	140° 16.73'	1675	-2	2016.12.1	広帯域 3成分
空振計	勢至平	37° 38.1'	140° 18.2'	1320		1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	3	2010.9.1	
傾斜計	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	-99	2011.4.1	
	勢至平	37° 38.0'	140° 18.2'	1315	-15	2016.12.1	
GNSS	幕川温泉	37° 41.1'	140° 14.6'	1288	8	2001.11.1	2010年6月2日: 2周波に更新
	母成	37° 36.2'	140° 14.5'	967	6	2001.11.1	2周波 2015年10月19日: 機器更新
	岳	37° 37.3'	140° 19.9'	902	8	2001.11.1	2010年6月3日: 2周波に更新
監視カメラ	若宮	37° 39.3'	140° 11.6'	820		1999.11.1	可視カメラ
	鉄山	37° 37.9'	140° 17.0'	1707	3	2016.12.1	可視、熱映像カメラ